

## 【到達目標】

1. 施設、乳幼児、職員、環境の実態を把握する。
2. 子どもとの関わりや観察を通して、乳幼児の発達を理解する。
3. 施設の社会的役割について具体的に理解する。
4. 職務内容や保育者としての職業倫理について具体的に学ぶ。

|    | 内容・項目   | レベル4                                                                    | レベル3                                                                        | レベル2                                                                     | レベル1                                                           |
|----|---------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 態度 | 実習態度    | 積極的に幼児に関わったり、気が付いたことを質問したりするなど意欲的に実習することができる。                           | 積極的に幼児に関わったり、分からない時は質問したりしながら実習することができる。                                    | 積極的に幼児に関わることができるが、分からないことがあっても質問することが難しい。                                | 積極的に幼児に関わったり、質問したりしながら実習することが難しい。                              |
|    | 研究的態度   | 実習の振り返りから課題をみつけ、調べたり質問したりしながら問題意識をもって実習に取り組んでいる。                        | 実習の振り返りから課題をみつけ、自分なりの課題をもって質問しながら実習に取り組んでいる。                                | 実習の振り返り返りが十分でないため、課題につながりにくく、1日をこなすだけになっている。                             | 実習を行うことで精いっぱいであり、問題意識をもって実習することが難しい。                           |
|    | 人間関係    | 礼儀、言葉づかい等職員及び保護者に適切な対応をしようとする。また、協調性をもって活動することができる。                     | 礼儀、言葉づかい等職員及び保護者に適切な対応をしようとする。また、協調性をもって活動しようとすることができる。                     | 礼儀、言葉づかい等職員及び保護者に適切な対応をしようとしたり、協調性をもって活動しようとしていたりしているが十分ではない。            | 礼儀、言葉づかい等職員及び保護者に適切な対応ができにくい。また、協調性をもって活動することができない。            |
| 能力 | 理解      | 所属学級の幼児の一般的な発達について十分理解し、知識を活用しようとしている。                                  | 所属学級の幼児の一般的な発達についてほぼ理解し、知識を活用しようとしている。                                      | 所属学級の幼児の発達についてほぼ理解しているが、知識の活用は難しい。                                       | 所属学級の幼児の発達について理解が不十分である。                                       |
|    | 実践      | 保育者の職務を概ね理解し、幼児一人ひとりを尊重した関わりをすることができる。                                  | 保育者の職務を理解しようとし、幼児一人ひとりを尊重して関わろうとしている。                                       | 幼児一人ひとりを尊重して関わろうとしているが、保育者の視点をもつことが難しい。                                  | 幼児一人ひとりを尊重して関わるのが難しい。                                          |
|    | 環境構成と整備 | 保育者が行っている幼児の生活や遊びに配慮した環境構成の意図に気付き、真似をして整えることができる。                       | 保育者が行っている幼児の生活や遊びに配慮した環境構成の意図に気付き、整えようとすることができる。                            | 保育者が行っている幼児の生活や遊びに配慮した環境構成の意図に気付くことはできるが、自分からは動くことが難しい。                  | 保育者が行っている幼児の生活や遊びに配慮した環境構成の意図に気付くことが難しい。                       |
|    |         | 材料の準備や後片付けが保育教諭の意図を踏まえてできる。                                             | 材料の準備や後片付けが自分なりにできる。                                                        | 指示された材料の準備はできるが、後片付けをすることが難しい。                                           | 指示された材料の準備および後片付けをすることが難しい。                                    |
|    | 記録・反省   | 実習態度を客観的に振り返り反省して、実習日誌に記録することができる。また、分からないことは保育者に質問し、翌日からの保育に活かすことができる。 | 実習態度を客観的に振り返り反省して、実習日誌に記録することができる。また、分からないことは保育者に質問し、翌日からの保育に活かそうとすることができる。 | 実習態度を自分なりに振り返り反省して、実習日誌に記録しようとすることができる。また、聞いたら応答するが自分から保育者に直接質問することが難しい。 | 実習態度を自分なりに振り返り反省して、実習日誌に記録することが難しい。また、分からないことを保育者に質問することができない。 |